



発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2024年9月24日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <https://sagamiva.info>

今年もみんなであそぼう♪

障がいのある人もない人も、みんなであそぶ市民のまつり

ほかほかふれあいフェスタ2024

10月12日(土) 10:00~15:30

あじさい会館・ウェルネスさがみはら前広場

今年も健康フェスタと同時開催です!

ご家族やお友達と一緒に、秋の一日をエンジョイしてくださいね♪



ボランティアさん大募集!

ポスター作成:
さがみはら若者サポートステーション
ほかふれプロジェクトメンバー

ほかふれフェスタ当日のボランティアさんを募集しています!!

今年もボランティア活動や障がいについての理解を広げるお祭り「ほかほかふれあいフェスタ」が開催されます。そこで、ともにお祭りを手伝い盛り上げてくださるボランティアを募集します!

日時: 10月12日(土) 8時~16時00分

(※活動可能な時間をお伝えください)

場所: あじさい会館(中央区富士見6-1-20)

内容: 会場設営準備、受付・案内誘導、イベント補助、設備片付け

ご興味のある方は是非ご連絡ください。

*当日は8:00にあじさい会館1階ロビーにご集合ください。
担当と進行を確認します。

*半日の参加や数時間の参加でも構いません。
ご都合をお知らせください。

*10月5日(土)までの募集となります。

*昼食は各自でご準備ください。

皆様、お手伝いをよろしくお願いいたします!

ボランティア協会も
ウェルネスさがみはら前広場のブース
に参加します。

*玉こんにゃく(3個/100円)

*ウインナー(3本/100円)

*ガチャガチャ(1回/100円)

お待ちしております♪

会員の皆様へ

今月のぼらんていあ通信には、11月に開催予定の講座「住みやすい街づくりのためのボランティア養成講座」のチラシを同封させていただきました。

皆様のご参加をお待ちしています。

講座検討委員会より

※連絡・問合せ先

・相模原ボランティア協会あじさい連絡所

電話: 042(759)7982

・相模原市社協 中央ボランティアセンター

電話: 042(786)6181

メール: svc@sagamiharashishakyo.or.jp



私とボランティア

なかむら ひろこ
中村 久子

新しい会員になられた方の紹介のための原稿をお願いしたいとお話がありました。改めてぼらんていあ通信を読み返させていただきました。さて、どうしましょう。私は他の皆様みたいな立派な志などなく、ボランティア活動の参加も二度くらいしかなく、何を書いたら良いのか…。

私の家族の話をします。主人は週3回リサイバスに通っており、自宅ではケアマネさん、ヘルパーさん、訪問医、訪問介護、訪問リハビリの皆様にお世話になり日々暮らしております。次女には知的障がいというハンディキャップがあります。生まれた時から色々な方のお力を借りにして毎日生活介護施設に通っています。自宅では入浴ほか、ヘルパーさんのお世話になってます。それとハンディキャップでのボランティアさんの心あただかい通院の支援など本当に感謝しております。

そんな折ボランティア協会の方々とお話をさせていたたく機会があり、私が限られた日時にか少しでもお手伝いできる事があればとの気持ちだけでしたが、切手ボランティアを紹介していただきました。先輩方に切手ボランティアの歴史や切手の処理の仕方など教えていただきました。珍しい物やかわいい切手などいつも癒わられます。家族などの体調なリサイバスに参加できない時もあります。本当に微力ですが都合の良い時にお手伝いさせてくださいと願っております。

NEW会員

ご紹介!

たけのこまつ

たけのこまつ
佐藤 のん

橋本地区で民生委員をしております。私の担当地区は駅から徒歩10分圏内の地域でも生活に便利な地域ですが、それでも駅まで行ってタクシーに乗ると、タクシーの予約をキャンセル、離れた場所に行きたくても行けないという高齢の方たちがいらついています。

困った声を聞いて、社協に相談したところ、紹介していただいたのが相模原ボランティア協会さんでした。早速、問い合わせをしたところ福祉移送サービスを利用するにあたりボランティア協会の方が利用したい方に入会等の説明をしてくださるということで、私も同席させていただきました。利用を希望する方にとっても丁寧に説明してくださり、不安に思っていた方を安心させてくれました。とても親身なあただかい対応に本当に感謝しました。

運転ボランティアさんが足りず、利用したい方を断っていることも多い、微力ながら少しでもお手伝いできればと入会させていただきました。車の運転は大好きで、私が運転して家族と海や山どこへでも行きます。運転が好きなのも理由の一つですね。

また、ボランティア協会のみならずはご自身も優しく人生の先輩方なので、いろんなお話を伺えるのも楽しみにしております。

今はお役に立てるか不安ばかりですが、わからないこと、気がなにかこと、色々に指導いただきました。ボランティアさんへお願いいたします。

10月の記念日は?

小倉 義男

10月15日、白杖の日です。

広島県広島市佐伯区に拠点を置く視覚障害者の集い「白い三輪車の会」が制定。同会では自立と積極的な社会参加で視覚障害者の生活の向上を目指している。視覚障害者が持つ白い杖「白杖」の意味や役割を多くの人に知ってもらい、安全に歩行、生活できるようになるとともに、視覚障害者に対する理解をより深めてもらうのが目的。日付は国際盲人連盟（現在の世界盲人連合）が1970年に10月15日を「国際白杖の日」と定めていることから、日本でも同日を記念日としたもの。

【出典（一社）日本記念日協会より参照】

※私も日々お世話になってます。小倉画



相模原ボランティア協会 10月の予定

日	時間	内容
9(水)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
12(土)	8:00~	ほかほかふれあいフェスタ
17(木)	10:00~	講座検討委員会
19(土)	10:00~	協会の在り方検討会議
	11:00~	定例理事会
	13:00~	ハンディキャップ・事務局合同委員会
22(火)	10:30~	ぼら通10月号印刷
	13:30~	ぼら通10月号発行
24(木)	10:15~	傾聴委員会

ボランティア活動グループ訪問記

オジャマシマ



まるとき福祉会の活動

一生を幸福に過ごせる地域をめざって



久しぶりに晴れ上がった空のもと、訪れた「燈(あかり)」は楽しそうな笑い声のする福祉施設でした。出迎えてくださったのは、NPO法人まるとき福祉会理事長の中館渉さん。肩書きからもっと厳め

しい雰囲気を感じてしまいましたが、暖かい笑顔とかわらぬ声「、こちらもつい引き込まれて、リラックスした雰囲気のなかでの取材になりました。

中館さんは大学で教育学を学び、たくさん障がい児と関わるなかで感じるものがあり、福祉施設に就職。現場での経験を積んだのち、同じ理想を持つ仲間数人とこの事業を立ち上げたそうです。



理事長の中館さん(左)と専務の松浦さん

先月、当ボランティア協会主催の子どもボウリング大会「ちゅうりんぐ」に心温まる寄付をしてくださいましたのも「まるときまな事柄を抱えた子供たちに少しでも楽しい思い出を作ってもらいたい」と思っていたとお話くださいました。

した。

「自分の生れ育った上溝を中心に、地域に暮らす人たちが年齢や障がいなどの有無を越えた交流の中から、少しでも笑顔の増える地域になるよう活動していきたい」という理想を実現するために、令和3年の創設以来、まるときまな拠点を展開し続けています。

例えば上溝駅に近いハンドメイドショップ「路(みち)」は地域の福祉施設の利用者さんが作った自主生産品の販売や駄菓子販売をしています。また近隣の方たちが一杯100円で気軽に「コーヒ」を飲むことができ、地域の人たちが気軽に過ごせるように工夫されています。将来は商店街との連携も考えておられるようです。

その他、障害児者相談支援事業所の「彩(いろは)」や、保育所等の訪問支援事業所「陽(ひなた)」などを開設していますが、年内には重症心身者の方をメインにした共同生活援助事業所を開設する予定だということでした。この施設は、当ボランティア協会のハンディキャップ利用者も開設を待っている期待の施設です。

「福祉サービスが必要とする人が安心・安全に日常を過ごせる支援に加え、社会の一員としての意識向上をはかれる事業をめざし、地域の方々や関係団体と連携、協力しあえる社会になって欲しい」と語る中館さんの口調には、穏やかな表情とは裏腹に、たぎるような情熱がこもっていました。

帰るきわに目をあげると、丸崎交差点の信号がよく見えました。



まるとき福祉会の3本柱
・地域に根差した事業所
・地域に貢献できる法人
・地域の人たちと共に歩んでいく
という設立理念が「まるとき福祉会」としての原点。しっかりと刻まれていて感じられ、これからの未来に発展しても「当協会とも連携し合ってゆける未来を描きながら帰路につきました。(恒藤・小川)



*特定非営利活動法人 まるとき福祉会
理事長 中館渉

〒252-0243 相模原市中央区上溝1464-6

*まるとき福祉会の事業所

- ・生活介護「燈(あかり)」
- ・生活介護「路(みち)」
- ・共同生活援助「笑(えむ) 年内開所予定
- ・障害者・障害児相談支援事業「彩(いろは)」
- ・保育所等訪問支援「陽(ひなた)」

*連絡先：042-704-9437 (土井・松浦)

理事報告

9月14日(土) 理事会(理事の不出席)

1、報告・連絡事項

《広報委員会》

・8月の通帳印刷は8月27日印刷・発行。

・ほかふれフェスタのチラシ発送作業を9月10日に行
った。

《HC委員会》

・運転者研修会を8月24日(土)に開催、27名が参加。

《事務局委員会》

・台風7号の風雨の影響により、8月16日(金)の11
00車7台の運行はキャンセルとなった。

《講座検討委員会》

・11月開催講座のチラシを1500部印刷し、ほか通
の用紙にも同封してPR活動をす。

《傾聴委員会》

・傾聴ボランティアの調整を行っている。

《映像企画実行委員会》

・インタビューシリーズの取材者を決め、取材日などを
企画中。

《その他》

・「ちのつるんぐボウリング大会」の報告と子どもボウ
リング大会の来年度開催について検討した。

・ほかふれ準備状況を確認した。

2、審議事項

・次期役員改選について理事定数などを確認した。

・HCの11号車代替車購入の経過報告があった。

・組織機能図について確認し承認した。

次回理事会10月19日(土) 11時より



HC運転者研修会

大地震！

その時HCの運転手はどのような行動をとるのか？

ハンディキャブ運転者研修会(第2回)

8月24日 市民会館4F中会議室

元日の能登の地震、8月は南海トラフ巨大地震
注意報、神奈川県西部地震と続く中、ハンディキ
ャブ運転者に向けた研修会が開催されました。ハ
ンディキャブの利用は歩行の困難な方が多数を
占めます。その運行の最中に大地震が起きたらど
うするか？ボランティアの運転手としてどのような
は何か？切実な課題です。当日は運転手さんに運
行事務を行う事務局員を加え、出席は27名の熱気
が会場に溢れました。

I 「防災講座」

まず、防災専門員の資格を持ち、防災マイスタ
ー、HC運転手でもある倉島勝治さんから『防災
を考へる』をテーマに講義がありました。相模原
市での大きな地震の際の想定被害、道路の交通規
制に加え、車いすの移動



など地図や画像の分か
りやすい内容。特に相模
原は大規模火災による
被災が一番心配のこ
と。避難のための情報の
入手や連絡の具体的な
手段なども取り上げて
いただき、「知る」は



意識を高め、不安を減らすことにつながるを感じ
ました。

II 「大地震のときの運転手の

行動マニュアル案」～意見交換

次に、事務局作成の行動案の説明。震度5強以上
を想定し、地震発生から時間を追って具体的な行
動を洗い出し、利用者の方を安全な場所に送り届
けるための提案です。市内の避難所の地図や災害
伝言ダイヤルの使い方の資料も配られました。ボ
ランティアとしてこれまで利用者の方に寄り添っ
て、どこで運行を終了とするかは悩ましい問題で
す。

この後、グループに分かれての意見交換は大変
活発なものとなり、事務局案への補強や助言とな
る有益な意見をいただきました。

III 「家具転倒防止対策ボランティア」の

活動紹介

ボランティア協会で10年以上続けてきた活動
です。日常からの地震対策も重要性を広く知らせ
たいと担当の杉本榮治さんからの話でした。

最後に新規福祉車両の購入が進行中と加藤修会
長(HC委員会)からの話もあり、中身の濃い2時
間の研修が終わりました。

帰る際には出席した運転手さんから次々と「わ
かりやすかった」「役立ちたい」「その会にも紹
介できる」「頑張ってくれてありがとう」と事務局
員に声を掛けていただきました。役立つ機会がな
いことを願いつつも、これからのために「備えの」
研修ができたのはなにかと嬉しいですね。

(事務局 杉本 尚)

~2024年度ボランティア協会・委員会組織機能図~



理事会	かとうおさむ 加藤 修、つねふしれいこ 恒藤玲子、しぶやひさみ 渋谷久美、にしもとたかし 西本 敬、はねだひさし 羽田彌、まつばらしゅん 松原 俊、かじわらけんいちろう 梶原賢一郎	監事	たかはしいさお 高橋 功、すぎもとえいじ 杉本榮治
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------	----	---------------------------

委員会の役割と委員

委員会名	分掌事項	管掌理事および委員長
広報委員会 ぼら通部会	ぼらんていあ通信の編集、発行、市民のための広報活動	◎〇恒藤玲子
広報委員会 情報部会	情報収集と発信、各種情報媒体の調査と活用、ホームページの管理	◎〇渋谷久美
事務局委員会	HC運行調整業務、NPO法人事務局の運営、諸機関との折衝、情報の収集と発信	◎加藤修 〇小野明雄
ハンディキャップ委員会	福祉有償運送事業の運営、HCボランティア号の保守管理	◎〇加藤修
講座検討委員会	講座育成事業の企画	◎羽田彌 〇西本敬
傾聴委員会	傾聴ボランティア事業及びボランティア育成	◎松原俊 〇西本敬
映像企画実行委員会	地域福祉の推進に役立つ映像の制作	◎〇西本敬

◎は管掌理事 〇は委員長

参加している審議会・協議会など

審議会・協議会名		担当理事など
相模原市	社会福祉審議会・高齢者部会	羽田彌
	精神保健福祉審議会	羽田彌
	地域福祉推進協議会	恒藤玲子
	福祉のまちづくり推進協議会	松原俊
	防災市民連絡会議	加藤修
	居住支援協議会（幹事）	恒藤玲子
社会福祉事業団	監事	渋谷久美
社会福祉協議会	災害ボランティアネットワーク運営委員会	渋谷久美
	ボランティア・市民活動団体部会	加藤修

HC運転手さんも大募集中!



実行委員として参加している委員会

ほかほかふれあいフェスタ実行委員会
市民まつり福祉バザー
ボウリング大会実行委員会

映像企画実行委員会では、さがみはら若者サポートステーションの若者のみなさんと協働で映像を制作しています。各委員会でも、一緒に活動していただける方を大募集しています。ご参加いただける方は、ぜひともボランティア協会までお電話ください!

外部団体との連絡窓口

外部団体等	責任者および連絡窓口担当者
さがみはら市民活動サポートセンター	小野明雄
かながわ福祉移動サービスネットワーク	加藤修
南地域交流ラウンジまつり	松原俊
幸せの黄色いレシートキャンペーン	松原俊/事務局・ ^{すぎさきひさこ} 杉崎久子
高齢者住まい探し相談会	恒藤玲子/事務局・ ^{ほりかすえ} 堀一恵
家具転倒防止ボランティア	杉本榮治/事務局・堀一恵



ボランティアさん募集！

①高齢者が通所するデイサービスにおける日課活動のお手伝い

依頼者： ツクイ相模原矢部デイサービス（中央区矢部 2-6-5）
 内容： 入浴後のドライヤー掛け、お話し相手
 日時： 月1回～ 午前10時～午後12時30分
 持ち物： 動きやすい服装、内履き、エプロン、マスク



②主に身体障がいのある方が通所する施設における日課活動のお手伝い

依頼者： 県央福祉会 パステルパレット（中央区陽光台 7-10-14）
 内容： お話し相手やレクリエーションの支援、利用者個々の日中活動のサポート
 日時： 月～土曜日の都合の良い時間帯（月1回、1時間から活動可）
 持ち物： 動きやすい服装、マスク



※①、②とも駐車場利用可

※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所： 電話 042 (759) 7982
 相模原市社協 中央ボランティアセンター： 電話 042 (786) 6181
 FAX 042 (786) 6182
 メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



…海辺のワインバーで癒される…
《今月のイラスト》

山口尚美画

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<8月の寄付者>

1名の方からご寄付をいただきました。

<8月の寄付金>

総額 10,200 円でした。



これからもよろしくおねがいします

ぼらんていあ通信を毎月、編集・発行しているぼら通部会では、先月から新しいメンバーを迎えることができました。メンバーを紹介します。

いしげきよみ おがわみつえ すぎさきひさこ たかはしいさお
 石関清美、小川美津枝、杉崎久子、高橋 功、
 つねふしれいこ みそおさちこ やまざきゆきこ
 恒藤玲子、三十尾幸子、山崎由紀子

の7名です。

*編集後記の担当者は、名前の一文字を表記しています。

今月の編集後記担当は誰？ ご想像を♪

編集後記

初めて広報のお手伝いをすることになり、人生、何が起るかわからないものだ…と感慨にふけっているうちに、季節は着実に歩んでいた。
 夏の水太りが解消しないままに食欲の秋に突入し、何を食べても美味しい。今年も「体重計が壊れている」とつぶやけることになりそうです。(川)